



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エフテック

コード番号 7212 URL <http://www.ftech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 嗣夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員

(氏名) 豊田 正雄

TEL 0480-85-5211

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	108,954	24.5	3,995	110.6	3,901	155.5	△3,112	—
24年3月期第3四半期	87,528	△13.8	1,896	△69.2	1,526	△73.8	19	△99.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △851百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,520百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△251.88	—
24年3月期第3四半期	1.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	83,686	23,554	15.4
24年3月期	84,796	25,221	18.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,886百万円 24年3月期 15,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,000	9.5	5,050	7.2	5,000	15.2	△2,750	—	△222.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	12,390,000 株	24年3月期	12,390,000 株
25年3月期3Q	32,778 株	24年3月期	35,753 株
25年3月期3Q	12,357,222 株	24年3月期3Q	12,355,279 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 重要な後発事象	11
4. その他	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日までの9ヶ月間）における当社グループの経営状況は、国内においては、主要得意先の自動車生産の乗用車比率が減少し、軽自動車比率が増加しました。また、中国自動車生産の減少により当社中国向け輸出部品の減少の影響がありました。

また海外においては、アジア地域が中国販売の低迷影響があったものの、北米並びにアジア大洋州における自動車販売・生産は順調に推移しており、全体として前年同四半期に比べ連結売上高は増加し、連結売上高に占める海外売上比率は増加傾向です。

このような状況において当社グループは、国内市場縮小への対応と海外事業拡大を同時に達成させるべく抜本的な事業構造改革に取り組むことが急務であると判断し、事業構造改革を実施することを決定いたしました。

これらの具体的施策として、人員の適正化、役員報酬の削減及び賞与支給の取止め、役員削減並びに久喜・亀山両事業所の生産体制改革の実施を決定し、国内事業構造改善費用として、当期に希望退職費用1,395百万円並びに亀山事業所の固定資産減損損失3,472百万円を計上いたしました。なお、亀山事業所は将来継続してキャッシュ・フローを確保する見通しであるため、重要な生産拠点として事業を継続いたします。

国内個別事業の営業黒字化と海外事業の安定的な成長を達成するべく最適な経営資源の配分を図り「良い製品を早く、安く」提供することで世界のお客様の期待に応えられるよう全力をつくして参ります。

このような中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、震災後の減産影響から生産、受注及び販売実績が回復したことにより、売上高108,954百万円（前年同期比24.5%増）、営業利益3,995百万円（前年同期比110.6%増）、経常利益3,901百万円（前年同期比155.5%増）、四半期純損失3,112百万円（前年同四半期は四半期純利益19百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

震災後の大幅な生産調整から国内の自動車生産が回復し、エコカー減税・補助金復活による需要刺激策はあったものの、主要得意先の販売が軽自動車へと大きく推移したことにより、売上高は27,102百万円（前年同期比3.7%減）、営業損失は453百万円（前年同四半期は営業損失812百万円）となりました。

（北米）

北米市場における堅調な新車販売を受け、主要得意先への売上が増加したことにより、売上高は58,826百万円（前年同期比46.8%増）、営業利益は3,278百万円（前年同期比155.7%増）となりました。

（アジア）

タイ洪水影響による減産からの回復等により、売上高は23,025百万円（前年同期比19.2%増）、営業利益は1,169百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,109百万円減少し、83,686百万円となりました。

負債は、短期借入金増加等により、前連結会計年度末に比べ557百万円増加し、60,132百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,666百万円減少し、23,554百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成24年11月2日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

平成25年3月期 通期連結業績予想の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	141,000	4,800	4,500	1,400	113.29
今回発表予想 (B)	143,000	5,050	5,000	△2,750	△222.54
増減額 (B-A)	2,000	250	500	△4,150	
増減率 (%)	1.4	5.2	11.1	—	
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	130,609	4,712	4,342	1,657	134.16

修正の理由

1. 事業構造改革の実施について

(1) 事業構造改革の背景

当社グループでは、これまで徹底した経営の効率化・合理化等によってコスト削減、経費圧縮に全社を挙げて取り組んでまいりましたが、国内個別事業の業績見込みは大きく悪化しております。

今後の見通しにおいても、国内自動車生産は円高の継続による完成車輸出の更なる減少と燃費効率の良い軽自動車や小型車が主力となり、当社の国内個別の生産付加価値は大きく減少するものと予想されます。

(2) 事業構造改革に要する費用

① 亀山事業所の固定資産減損計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が所有する亀山事業所の固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、平成25年3月期第3四半期連結決算において3,472百万円の減損損失を事業構造改善費用として特別損失に計上いたしました。

場所	用途	種類	減損損失
三重県亀山市	製造設備	建物・機械装置他	3,472百万円

なお、亀山事業所は今後も重要な生産拠点として事業を継続いたします。

② 人員の適正化について

希望退職者の募集に伴い発生する特別退職加算金等の事業構造改善費用を1,395百万円と見込み、特別損失として計上しております。

2. 業績予想の修正について

1. のとおり、事業構造改善費用を特別損失に計上したことを踏まえ、修正を行ったものであります。

3. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年11月2日発表)	—	—	—	10.00	20.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	10.00
当期実績	—	10.00	—		
前期実績 (平成24年3月期)	—	10.00	—	10.00	20.00

修正の理由

当社は、剰余金の配当につきましては、株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、各期の業績、配当性向並びに以後の事業展開に必要な内部保留の水準等を総合的に勘案し、安定的な配当を継続することを基本としております。

しかしながら、上記のとおり通期で多額の純損失を計上する見込みとなったため、当期の期末配当につきましては誠に遺憾ながら実施を見送らせていただきます。これにより、年間配当予想は1株につき10円となります。

※本資料に記載される業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、連結子会社㈱リテラは、決算日を2月28日から3月31日に変更しております。決算期変更に伴う当該子会社の平成24年3月1日から平成24年3月31日までの1ヶ月間の損益は、利益剰余金に計上しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,229	5,115
受取手形及び売掛金	19,930	15,710
商品及び製品	2,465	3,346
仕掛品	3,321	3,114
原材料及び貯蔵品	4,524	6,261
その他	2,962	3,352
流動資産合計	38,433	36,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,431	14,196
機械装置及び運搬具（純額）	14,763	16,699
その他（純額）	11,653	10,902
有形固定資産合計	41,848	41,798
無形固定資産		
投資その他の資産	1,031	1,014
投資有価証券	2,693	3,097
その他	857	939
貸倒引当金	△68	△66
投資その他の資産合計	3,482	3,970
固定資産合計	46,362	46,784
資産合計	84,796	83,686
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,280	13,681
短期借入金	7,811	14,049
1年内返済予定の長期借入金	8,583	8,846
未払法人税等	649	208
役員賞与引当金	81	1
その他	6,669	6,676
流動負債合計	40,074	43,465
固定負債		
長期借入金	16,574	13,880
退職給付引当金	788	639
役員退職慰労引当金	208	198
負ののれん	95	90
その他	1,833	1,857
固定負債合計	19,500	16,666
負債合計	59,574	60,132

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,677	2,677
資本剰余金	3,115	3,115
利益剰余金	14,102	10,781
自己株式	△23	△18
株主資本合計	19,871	16,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324	373
為替換算調整勘定	△4,745	△4,043
その他の包括利益累計額合計	△4,420	△3,669
少数株主持分	9,770	10,668
純資産合計	25,221	23,554
負債純資産合計	84,796	83,686

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	87,528	108,954
売上原価	77,646	96,133
売上総利益	9,882	12,821
販売費及び一般管理費	7,985	8,826
営業利益	1,896	3,995
営業外収益		
受取利息	44	60
受取配当金	20	22
持分法による投資利益	10	255
為替差益	10	—
貸倒引当金戻入額	2	—
その他	37	57
営業外収益合計	124	396
営業外費用		
支払利息	471	417
為替差損	—	52
その他	23	19
営業外費用合計	494	490
経常利益	1,526	3,901
特別利益		
固定資産売却益	7	8
助成金収入	95	—
受取保険金	—	427
特別利益合計	102	436
特別損失		
固定資産売却損	13	0
固定資産除却損	49	67
投資有価証券評価損	5	4
事業構造改善費用	—	4,868
災害による損失	—	233
その他	8	1
特別損失合計	76	5,175
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,552	△837
法人税、住民税及び事業税	901	1,493
過年度法人税等	—	△509
法人税等調整額	81	134
法人税等合計	982	1,117
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	569	△1,955
少数株主利益	549	1,156
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19	△3,112

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主利益	549	1,156
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	569	△1,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	19
為替換算調整勘定	△1,879	1,009
持分法適用会社に対する持分相当額	△88	75
その他の包括利益合計	△2,089	1,104
四半期包括利益	△1,520	△851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,427	△2,362
少数株主に係る四半期包括利益	△93	1,510

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	28,148	40,063	19,316	87,528
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,003	468	928	8,400
計	35,151	40,532	20,244	95,928
セグメント利益 又は損失(△)	△812	1,281	1,135	1,604

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,604
セグメント間取引消去	292
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,896

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	27,102	58,826	23,025	108,954
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,738	718	1,295	10,752
計	35,841	59,544	24,321	119,707
セグメント利益 又は損失(△)	△453	3,278	1,169	3,994

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,994
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,995

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、事業構造改革に伴う減損損失を3,472百万円計上しており、特別損失の「事業構造改善費用」に含めて表示しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

役員の異動につきましては、本日平成25年2月7日発表の「代表取締役の異動および執行役員人事に関するお知らせ」をご参照ください。